



第363回 12月定例会

一般質問

- | | |
|-----------|------------|
| まつもと あきのり | たけうち おさむ |
| ・松本哲昇 | ・竹内修 |
| ほりい かずみ | かわしま のぶゆき |
| ・掘井算満 | ・河島信行 |
| いしだ きくお | やまなか おさみ |
| ・石田喜久男 | ・山中修己 |
| ふじい たまお | ふじもと しゅうぞう |
| ・藤井玉夫 | ・藤本修造 |
| すすがき はじめ | |
| ・鈴垣元 | |

議案質疑

- | |
|-----------|
| おかじま まさあき |
| ・岡嶋正昭 |

議会傍聴

12月定例会 40人

好古館に流れる歌声

神戸市混声合唱団

クリスマスコンサート開催

12月定例会終わる

- こんなことが決まりました…… 2～3
一般質問・質疑発言者…………… 4
一般質問・質疑について…………… 5～9
臨時市議会・行政視察報告…………… 10
常任委員会審査報告…………… 11
議会の動き…………… 12



12月定例会

こんなことが決まりました。

12月定例会は、11月30日から12月24日まで25日間開催しました。一般会計補正予算をはじめ、条例制定及び人事案件などを含む議案16件を原案のとおり、可決・同意しました。

「給与」をわせた条例

一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について
平成21年8月の人事院勧告に鑑み、給料平均0.2%引き下げ、期末勤勉手当を年額4.5月分から0.35月分引き下げ4.15月分へ等。

特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について

平成21年8月の人事院勧告に鑑み、期末手当を年額4.5月分から0.35月分引き下げ4.15月分へ。

議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

平成21年8月の人事院勧告に鑑み、

期末手当を年額4.5月分から0.35月分引き下げ4.15月分へ。

議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

船員保険法の改正に伴い、これまで船員保険法に基づく保険給付が行われていた地方公務員である非常勤の船員が地方公務員災害補償法の規定に基づく当該条例により補償を行なうものとなったため関係条文を整備。

小野市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について

税務システムの改修に伴い固定資産評価証明書の様式が変更になり、従来土地5筆(建物5棟)が1件の証明(5筆ごとに250円)から、5筆以上でも1件の証明(250円)として発行するため関係条文を改正。

小野市介護保険条例及び小野市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について

介護保険料及び後期高齢者医療保険料の延滞金について、厚生年金保険法等の一部を改正する法律の施行に準じて延滞金を軽減(1ヶ月まで7.3%を3ヶ月まで7.3%など)、及び災害その他特別な事由により延滞金の全部または一部の免除することができる規定の創設。

小野市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

消防力の整備指針等に基づき団員定数及び報酬の適正化のため、消防団員の定数見直し(874人↓700人)及び報酬改正等を行う。

小野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について

平成21年5月の消防法の改正(平成21年10月31日施行)に伴う引用条項の整理。

主な議案

北播磨総合医療センター企業団規約の制定について

小野市、三木市の統合病院の建設、開設、運営を行う一部事務組合「北播

磨総合医療センター企業団」の設置にかかる規約制定企業長は両市の市長の互選、企業団議員は10人(両市議会より各5人選挙)、事務所は三木市加佐58の1、建設・開設経費は折半など。

損害賠償の額の決定及び和解について
公用車両による人身・物損事故。

小野市公平委員会委員の選任について
末瀬正和委員が平成21年12月23日で任期満了となるため、その後任として廣瀬宗男氏を選任するため。

小野市固定資産評価審査委員会委員の選任について
山崎雅司委員及び伊藤俊博委員が平成22年3月9日で任期満了となるため、その後任として伊藤俊博氏及び藤木保喜氏を選任するため。

専決処分の承認を求めることについて
(平成21年度小野市一般会計補正予算(第3号))

補正額 29,000千円 追加
総額 19,616,900千円

平成21年度小野市一般会計補正予算(第4号)

補正額 408,500千円 追加
総額 20,025,400千円

平成20年度の 各会計決算が認定されました

- 平成20年度小野市歳入歳出決算の認定について
- 平成20年度小野市都市開発事業会計決算の認定について
- 平成20年度小野市病院事業会計決算の認定について
- 平成20年度小野市水道事業会計決算の認定について
- 平成20年度小野市下水道事業会計決算の認定について

平成21年度小野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)

補正額 415,900千円 追加
総額 5,351,089千円

小野市下水道事業欠損金の処理について

資本剰余金(受贈財産評価額)により処理

処理額 80,793,642円
処理後の未処理欠損金 2,144,244,083円

(単位:千円)

内	容	補正額	補正後
新規	◆小野中学校体育館新築事業 H22年度実施予定の体育館新築を前倒して実施。(施工管理委託、工事費)	300,000	300,000
新規	◆小野中学校体育館新築事業(H22年度債務負担行為)	92,000	92,000
新規	◆北播磨総合医療センター企業団負担金 一部事務組合設立(2月設立予定)に伴う組合運営費の小野市負担分。(負担割合:小野市1/2 三木市1/2)	5,000	5,000
新規	◆3人乗り自転車の普及啓発事業 安全に配慮した3人乗り電動自転車の普及啓発、レンタル事業。6歳未満の子どもが2人以上いる家庭を対象。	9,850	9,850
新規	◆全国瞬時警報システム(J-ALERT)整備 国の防災緊急情報受信機の設置。全国一斉整備。(県費10/10)	2,516	2,516
新規	◆地域生活支援事業 障害者スポーツ競技等への参加促進。スポーツ備品の購入。	1,000	1,000
新規	◆ひょうごキッズ元気アップ実践推進事業 基礎体力向上を推進するための運動器具等の購入。兵庫県運動プログラムの実施。(中番小学校)	100	100
追加	◆乳幼児・小児医療の助成経費 新型インフルエンザに伴う乳幼児・小児医療助成経費(中学生以下は無料)の増額。	27,288	277,135
追加	◆高齢者インフルエンザ予防接種経費 高齢者の季節性インフルエンザ予防接種者増加に伴う経費の増額。(接種費用4,000円のうち3,700円を市が負担)	5,291	28,046
追加	◆生活保護措置経費 生活保護受給世帯等の増加および国の母子加算復活に伴う扶助費の増額。	50,211	234,185
追加	◆担い手育成総合支援事業 浄谷町集落営農組合設立にかかる初期費用(農業用倉庫、保管庫等購入)の補助。	2,862	4,996
追加	◆ほ場整備に伴う地籍調査 万勝寺脇本地区ほ場整備事業に伴う山林境界確定のための調査、測量。	516	3,336
追加	◆農道維持修繕事業 県営農道整備事業実施区域(きすみの地区)に接続する農道の舗装整備。	500	3,500

補正予算の主な内容

今回の補正は、9月補正予算での小野中学校校舎新築の22年度予定分前倒し実施に引続いて、小野中学校の体育館新築についても前倒しで実施する。また、2月に設立予定の一部事務組合「北播磨総合医療センター企業団」の組合運営費にかかる小野市負担分を計上するほか、6歳未満の子どもが2人以上いる家庭を対象に、安全に配慮した3人乗り電動自転車の普及啓発・レンタル事業、障害者向けのスポーツ用具等の購入を新規に実施する。この他にも、新型インフルエンザの流行に伴い増大が見込まれる乳幼児・小児医療費助成経費や、高齢者の季節性インフルエンザ予防接種経費の増額、国の母子加算復活を含めた生活保護措置経費増額等の補正を行います。



シルキーウェイ あわの里

(一般質問・質疑は発言した議員が編集しました)

平成21年 12月定例会

市議会HP内の「市議会ビデオライブラリ」からも、議会の様子をご覧ください。

HPアドレス：<http://www.city.ono.hyogo.jp/~gikai/>

一般質問発言者

松本哲昇議員

- ・ 将来の上水道計画について
- ・ 教育施設整備について
- ・ 廃棄物処理・し尿処理について

竹内 修議員

- ・ 生活支援策について
- ・ 子育て応援特別手当について
- ・ 医療費無料化に伴う受診モラルの低下について

堀井算満議員

- ・ 市民大学の再開について
- ・ 事業仕分けについて

河島信行議員

- ・ 『KDDI跡地の地縁者住宅用地』の活用計画について
- ・ 『各町自治会が管理されている児童公園』の整備計画について
- ・ 『市立学校給食センター』の新築計画について
- ・ 『葬儀会館(セレモニーホール)』の計画について
- ・ 『神戸電鉄・粟生線』の今後について

石田喜久男議員

- ・ 看護師の養成について
- ・ 小野まつりについて
- ・ 「ウェブショップ」システムについて

山中修己議員

- ・ 水道水の安全安心について
- ・ 市役所東駐車場の顧客満足度向上について
- ・ 病院の信頼度アップについて

藤井玉夫議員

- ・ インフルエンザ対策について
- ・ 情報公開と行政評価について
- ・ 中心市街地のまちづくりについて

藤本修造議員

- ・ 地域の自立について
- ・ 観光行政について
- ・ 神戸電鉄について

鈴垣 元議員

- ・ 高齢者医療について
- ・ 北播磨総合医療センターについて
- ・ 公金運用について

質疑発言者

岡嶋正昭議員

- ・ 議案第68号 専決処分承認を求めることについて(平成21年度小野市一般会計補正予算(第3号))
- ・ 議案第69号 平成21年度小野市一般会計補正予算(第4号)について

請願や陳情を出すとき

市政に対して意見や要望があるときは、市議会に請願や陳情として提出することができます。なお、請願を提出するときは市議会議員の紹介が必要です。 ※詳細は議会事務局まで。

請願、陳情書の記載事項は次のとおりです。

請願書の記載事項

1. 件名
2. 趣旨
3. 住所・氏名・押印
4. 紹介議員の署名・押印
5. 宛先 (小野市議会議長)
6. 提出年月日

陳情書の記載事項

1. 件名
2. 趣旨
3. 住所・氏名・押印
4. 宛先 (小野市議会議長)
5. 提出年月日



清風クラブ

松本哲昇議員

討して参りたいと思います。

(水道部長)

将来の上水道計画について

質問 地下水水源地(市場・河合)の高度化導入時期及び処理方法は?

答弁 市場が22年度〜24年度、河合が24年度〜26年度実施する予定。両水源とも紫外線処理方式を考えています。

質問 耐震必要整備管路の延長及び事業費について

答弁 耐用年数を経過した管路は約13kmあり、整備費用は6億5千万円程度必要。

質問 整備費用削減として、口径による管種(ポリエチレン)、工法(浅埋)の検討が必要では?

答弁 管種・工法については、今後研究して参ります。

質問 貯水槽水道の安全衛生対策として、他市では直圧給水・直結増圧給水を奨励しているか?

答弁 小野市では、配水管の整備が進んでおらず、今後導入に向けて検

小野東小学校改築について

質問 改築時期および場所は?

答弁 計画どおり25年度〜27年度に校舎、28年度に体育館を改築します。改築場所は未定ですが、22年度に保護者の代表を含む検討委員会を立上げ内容をまとめ、23年度に基本計画、24年度に実施設計をまとめます。

(教育次長)

し尿収集について

質問 し尿収集車2台にかかる経費は?現在の収集量は過去の委託量からすれば全部委託できると思うが?

答弁 直営車両1台約2,450万円・委託車両1台約1,130万円。委託車両については手数料で賄っています。委託台数は1台であり、合特法の趣旨を鑑みて対応している。

(市民安全部次長)

生活支援策について

質問 今年も厳しい年末になりそうですが、支援金の支給のお考えはありますか。

答弁 厳しい制度運営にある、介護保険・国民健康保険の据置き、消費者物価指数2・5%下落においても、年金・生活保護基準額の物価スライドを行わず対応しております。

また、新型インフルエンザの非課税所帯への無料接種、人工透析患者への肺炎球菌ワクチンの無料接種など、市民生活を第一とした福祉施策を展開しており、支援金の支給は考えていません。

(市民福祉部長)

子育て応援特別手当について

質問 政権交代による子育て応援特別手当の執行停止による事務手数料等の小野市の負担金と事務手数料の処理はどうなるのか。



公明党

竹内修議員

答弁 全国の自治体は、国策変更で被害的立場にあります。該当世帯への通知を12月中旬に予定しております。システム構築費は全額国費が出るので、事務に携った職員の人件費のみが負担になります。

(市民福祉部長)

医療費無料化に伴う受診モラルの低下について

質問 中学三年生までの医療費の完全無料化は、3年間の暫定的な導入でしたが、今までの経緯を見て、3年を経過しても引き続き取り組まれるお考えはありますか。

答弁 重症患者への影響や、医師の疲弊につながる「コンビニ受診」は小野市民病院でもありますが、医療費無料化が、影響しているとは捕らえていません。

(市民病院事務部長)

答弁 中学三年生までの医療費の無料化は、市民が誇れる施策、今後、継続してまいります。

今は、国策が判断できないのが現状。推移を見守って行きたい。(市長)



新生クラブ
掘井 算満 議員

事業仕分けについて

質問 予算の効率化を図るため、民間シンクタンク「構想日本」が手がけた手法により、国家予算の事業仕分けが進められている。各自治体に於いても事業仕分けの機運が高まっていると報じられているが、自治体予算に対する事業仕分けの必要性と効果はどうか。

答弁 市は従来から「理屈に合わない公金は支出しない」方針を堅持。事業仕分けは「いかに無駄を省くか」「いかにして有効性・効率性を高めるか」が問われ、事業をゼロベースで見直すこと、そして施策の必要性について説明責任を果たすことを求められている。したがって、本来の事業仕分けとは、責任も権限もない仕分け人の判断に頼るのではなく、市議会も含めて行政に関わる者自身の手によって、実現されるべき仕組みである。

事業仕分けでは、既存事業を廃止・縮小はできても、新たなニーズには対応出来ない。
短絡的な結果だけを求めるのではなく、そのプロセスを含めて評価・分析し、新たな仕組みへと繋げるPDC Aのマネジメントサイクルを展開する仕組み、すなわち小野市が実施している「方針管理制度」こそが重要であり、改めて事業仕分けを導入する必要はない。

事業仕分けによる小野市への影響は、地方交付税やまちづくり交付金が仕分けされているので、引き続き鋭意情報収集に努めたい。(市長)

市民大学の再開について

質問 平成13年第15回市民大学が開催されて以降中止となっているが、その必要性は高まっていると思うが、その再開の見通しについてどうか。

答弁 市民大学については、今後とも市民ニーズを把握し、生涯学習の機会のある充実を努めたい。(教育長)



新生クラブ
河島 信行 議員

「KDDI跡地の地縁者住宅用地の活用計画」について

質問 「KDDI跡地の地縁者住宅用地の活用計画」について

答弁 今回の「地縁者住宅区域」とは、自治会(浄谷町)が属する小学校区(小野東小学校区内)及び小野東小学校区に隣接する自治会です。

②販売の具体策(購入者への優遇施策等)について

答弁 現在、造成計画を策定中で、具体的な事項をまとめる段階には至っておりません。しかし、販売にあたっては、積極的に周知を図ります。(井上副市長)

各町が管理されている児童公園の整備計画について

答弁 子育てを支援する、いわゆる福祉政策の一環として「まちの子育てひろば整備交付金事業」を創設した。(平成19年度から)「トイレ設置」の必要性については、各自治会で必要性を判断していただき、この交付金事業の制度を活用し、自治会で設

置いただければと考えます。

「市立学校給食センター」の新築計画について

質問 「市立学校給食センター」の新築計画について

①新築計画の構想について
答弁 教育委員会は「学校給食センター」の改築計画は「次期の学校整備事業計画」を策定する中で検討します。

②運営形態について
答弁 未定です。(教育次長)

「葬儀会館(セレモニーホール)」の計画について

答弁 「民間主導」で整備していただきたい。(小林副市長)

「神戸電鉄・粟生線」の今後について

①行政が果たすべき役割について
答弁 「神戸電鉄粟生線活性化協議会」を設置し議論する。

②市民が果たす役割について
答弁 「神戸電鉄粟生線活性化協議会」の中で議論し、乗車運動を展開していきます。(小林副市長)



明政クラブ

石田喜久男 議員

看護師の養成について

質問 いま、若い人の就職は大変です。就職するためには、求人が多い資格や能力を身につけることが重要です、その一つの資格が、看護師と考えます。看護師は大変な仕事ですが、自立でき一生を託せる職業であると思います。

しかし、看護師になろうとしても、看護学校も狭き門であります。

現在、計画されている北播磨総合医療センターの開設に当たっては、多くの看護師が必要です。良い病院の条件は、医師や設備とともに優秀な看護師は不可欠です。

そこで、看護師養成について、お伺いします。

答弁 北播磨総合医療センターの開設に伴う、看護師の採用計画及びスキルアップ対策については、今後そ

の計画を具体化することになります。が、現在、看護師数は三木市民病院約二〇〇人、小野市民病院約一三〇人、計約三三〇人です。平成25年10月の開設時には、三五〇人の看護師が必要であると推測しております。フルオープン後の平成28年度には四〇〇人程度が必要となります。そのためには、看護職の学生実習を受け入れたり、教育・研究支援部門を設立して研究・研修を支援するとともに専門性を高めるため、各種の資格取得などスキルアップを支援したいと考えております。また、院内保育所を設けて働きやすく、働き続けられる環境を整備し看護師確保と優秀な看護師の育成に努めたいと考えております。

(市民病院事務部長)



水道水の安全安心について

質問 河合地区で発生した漏水事故を発端にして、これらの事故対応について問う。

答弁 漏水事故は、概ね年間10件程度発生しています。今回の河合漏水対応については、全員で反省会を実施し、マニュアルの修正、設備の点検、無線機の取り扱い等10項目の改善アクションを行いました。また、ホームページで濁り水の説明、情報提供をするために安心安全メールへの勧誘なども行っています。管の予防保全については、計画的に毎年、約1億円をかけて、より耐震性のある铸铁管へ更新しており、今後も続けていきます。

(水道部長)

危機管理における広報の重要性は認識しており、種々検討しているが、成果が疑問である。自助、共助に頼らざるを得ないと思っている。(市長)



市民クラブ

山中修己 議員

市役所東駐車場の顧客満足度向上について

質問 当該駐車場の安全、排水面の更なる対策は顧客満足度向上の意味で対応すべきではないか。

答弁 議員指摘の通り、多くの来庁者が利用する市の駐車場であり、より高い利便性、安全性を確保する必要があると認識しています。具体的には、道路を識別できるように交差点や合流地点に停止線を引くなど早急に実施します。また、排水につきましても駐車場内に排水路を設置するよう予算を検討します。(総務部長)

排水路の設置は顧客満足度向上の視点から来期予算で設置する。

(市長)

その他

質問 病院の信頼度アップについても質問しました。



新生クラブ
藤井玉夫議員

インフルエンザ対策について

質問 現在、幼児、小学校低学年に接種されていますが、対象者のワクチン接種状況はどのような状況か。

答弁 小野市では集団接種方式は採用せず、12月4日からワクチンの配分に合わせ、予約順に医療機関のご尽力により幼児、小学校低学年に接種しており、年内には二千人以上の接種が可能な状況にあります。

今後の接種については、町内回覧等でお知らせするとともに、保健センターで相談窓口を設けて対応しています。
(市民福祉部長)

情報公開と行政評価について

質問 行政の「情報公開」と「説明責任」から多くの自治体で「行政評価制度」が取り入れられているが、小野市の同制度の今後の取り組みはどのように考えられているのか。

藤井玉夫議員

答弁 小野市では、行政も経営であるとの理念のもと、独自の「方針管理制度」を10年前から実施し、業務改革を行っています。また、情報公開と説明責任という面では、市長への手紙や市政懇談会等様々な手法により、透明性ある行政運営を行い、引き続きオンリーワンの「行政経営」を進めてまいります。(小林副市長)

中心市街地のまちづくりについて

質問 今後の中心市街地まちづくりへの市の支援策、取り組みについてどのようなお考えか。

答弁 見える成果として、商店街にある「ポケットパーク」、「よって吉蔵」の整備を図ってきた。現在、協議会で構想編、整備計画編が策定され、その事業効果、事業費など、実行性について検証しています。今後は、この整備計画を次期総合計画に反映させていくなど、計画の具体化に努めてまいります。
(地域振興部長)

地域の自立について

質問 「コミセンきすみの」の指定管理における、地域力について問う。

答弁 「住民自らが、地域の公共的、社会的課題に気づき、住民が主体的かつ自立的に、また協働しながら、地域の課題を解決したり、地域の価値を新たに創り出したりする力」と考える。なお「地域力」は①住民が社会集団を自立的に維持する「組織化力」②地域の課題に気づき自ら解決していく「自治力」③地域内外で協力して助け合い、目的を達成する「協働力」④地域社会の環境に応じて現状を改善していく「変革力」これらの複合的な能力であり、この「地域力」がある地域が活性化し、住民満足度が高くなると言われている。
(小林副市長)



市民クラブ
藤本修造議員

識を「個(個人)から公(地域・行政)」への変革について問う。

答弁 一番大切なこと、それは価値観の変革である。「生きがいがらみ」でなければならぬ。次に、
①主体的に理念を創り出す。
②そして行動指針を打ち出す。
次に5つの条件が必要。
①リーダーの存在
②3つの気(やる気・勇気・根気)
③熱意
④主体的な自立性
⑤3C(CSの向上・コラボレーション・チャレンジ)
(市長)

観光行政について

質問 「小野はここ」から「小野はこれ」を打ち出す観光戦略について
答弁 ①市内観光拠点を点から線に繋ぐ。②ご当地グルメ(B級グルメ)の開発にて、観光入れ込み数の増加を図り、収益に繋げる。
(地域振興部長)

質問 自立に向けての地域住民の意

高齢者医療について

後期高齢者医療制度は75歳以上の高齢者を差別する制度として批判を浴び、総選挙の大きな争点であったが、新政権は制度廃止の公約を先送りに転換しました。後期高齢者保険の小野市の実態、及び窓口負担無料化の検討を提案しました。

質問 長妻厚生労働大臣は、保険料が来年4月から全国平均で12%上がると述べている。兵庫県ほどの程度の値上げになるか。また、市内の75歳以上の方の中には、生活保護基準ギリギリのところであるという方がかなりおられる。保険料軽減の状況はどうか。

答弁 厚生労働省から医療給付費の伸び率等が改めて示され、広域連合では再度保険料の試算に取り組んでいる段階とのこと。保険料軽減の状況だが、10月末における均等割軽減対象者数は、9割軽減1,236人、7割1,215人、5割203人、2割347人、健康保険被扶養者からの移動による5割軽減684人となっており、被保険者数の68.9%が保険料軽減者。ちなみに県下の平均は53.9%です。

(市民福祉部長)

日本共産党

鈴木 元 議員

質問 ヨーロッパ各国では窓口負担無料は当たり前、日本の自治体でも無料化しているところがいくつかある。長野県原村では35年前から無料にしているが、誰もが安心して早めに医療にかかれることから早期発見・早期治療が医療費削減につながる、2007年度の1人当たり老人医療費、全国平均が87万円に対し64万6千円、74%ですんでいる。医療費削減のヒントがあるように思う。75歳以上を無料にした場合、年間4億円と試算されているが、本当に必要な世帯だけでも無料化すべきでないか。

答弁 検討は致します。住民税非課税世帯についても息子さんなどから援助を受けている家庭も多い。問題は、公正な絞り込みができ市民の理解が得られ、措置をした結果どのような負担額になるかが判断の分水嶺になる。少子高齢化のもと、中学校3年までの無料化だけでなく、今度が高齢者に何かいい方法はないか前向きに考える。

(市長)



議案質疑

市民クラブ

岡嶋 正昭 議員

平成21年度

一般会計補正予算について

質疑 新型インフルエンザ予防対策費2,900万円の具体的内容について

答弁 厚生労働省からの「新型インフルエンザワクチン接種実施要綱」に基づき、優先接種対象者のうち、市民税非課税世帯等の方のワクチン接種費用について、実費負担相当額の軽減に必要な経費を予算計上したものの。

ワクチン接種に必要な「無料接種券」の申請・交付事務を11月から実施。小野市では約4,700人が対象となります。(市民福祉部長)

「新型インフルエンザ(A型N1H1)」は、感染力が非常に強く、市内での感染者は15歳未満で8割強を占めている。又、全国で約100名の方が新型インフルエンザが原因で亡くなっている。季節性インフ

ルエンザでは、年間約1万人の方が亡くなっている。(市長)

質疑 交通防犯対策費985万円の目的と具体的内容について

答弁 道路交通法施行細則の改正に伴い、3人乗り自転車が増え、安全利用を啓発し、3人乗り自転車を市が50台購入し、保育所の送迎等に利用しようとする市内在住の希望者に無償で貸し出す事業。

市内保育所を利用する保護者を対象に、アンケート調査を実施。レンタルを希望する方が100名余りあり、事業化するに至った。貸し出し期間は1年間で更新は可能。メンテナンスは利用者個人負担。6歳になれば返却・次の希望者へレンタルされます。

貸し出しについては、不公平が生じないよう配慮していきます。(市民安全部長)

(市民安全部長)

臨時市議会を開催しました

北播磨総合医療センターの

企業団議員選出など

1月25日、一般会計補正予算の議案1件の審議と北播磨総合医療センター（小野市・三木市統合病院）の企業団議員を選出するため、臨時会を開催しました。

一般会計補正予算に係る議案は、3月定例会で可決された債務負担行為のうち、新病院事業用地取得面積を8haから9haに変更するもので、全会一致で可決されました。

一方、企業団議員は企業団規約により、小野市・三木市から各5名ずつ選出することになっており、選出は議長の指名推薦による方法で選挙を行い、次の方々を選出しました。

企業団議員として、岡嶋正昭、竹内修、藤原健、松井精史、鈴垣元の5人です。

今後、平成25年10月に北播磨総合医療センターの開設に向けて、準備を進めてまいります。



地方自治体の事務の一部について、共同処理するために複数の地方自治体が構成団体となって設立する組合です。組合は、両市議会の議決・兵庫県の許可を経て、設立することができます。

議会運営委員会の行政視察報告

(委員構成) 委員長：加島 淳 副委員長：河合俊彦
委員：藤井玉夫・松本哲昇・竹内 修・松井精史
議長：川名善三 副議長：河島信行

(期 日) 10月28日(水)・29日(木)

(視 察 先)

① 《広島県三次市》

・議会報告会について

議会報告会は議会と市民との直接対話の場として、開かれた議会を目指し開催する議会が増えつつある。

さまざまな議会改革に取り組まれている三次市において、平成19年度から取り組まれている議会報告会について説明を受けた。



議会報告会の説明を聞く議員

② 《岡山県玉野市》

・一問一答方式

一問一答方式による本会議の運営を行う議会が増えつつある中で、先進的に導入されている現状、導入に至った経緯・背景などについて説明を受けた。

玉野市の場合、1年が経過した現在、時間とともに定着している。議会の活性化と市民にわかりやすい議会の実現という面からも、一問一答方式の導入を引き続き検討していきたい。



玉野市議会議場において

常任委員会

審査報告

12月定例会の提出議案審査付託について、12月21日、総務文教、民生保健、地域振興、各常任委員会を開催しました。

審査付託議案は、議案第68号から第71号、第75号から第81号までの計11議案であり、市当局から細部にわたる説明を受け、慎重に審査をいたしました。

各常任委員会に付託された議案は、次のとおりです。

- 【総務文教常任委員会】**
- 第68号 専決処分承認を求めることについて(平成21年度小野市一般会計補正予算(第3号))
 - 第69号 平成21年度小野市一般会計補正予算(第4号)
 - 第75号 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - 第76号 小野市手数料徴収条例の一部を改正する条例の制定について
 - 第78号 小野市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について
 - 第79号 小野市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について
 - 第80号 北播磨総合医療センター企業団規約の制定について
 - 第81号 損害賠償の額の決定及び和解について採決の結果、全議案について全員賛成により可決すべきと決まりました。

なお、審査する過程において次のような意見がありました。

議案第80号について、「北播磨総合医療センターの経営管理者及び監査委員については、病院事業の経営管理に優れた識見を有する者を選任し、将来にわたり安定した病院事業の経営が図られるよう努められたい。」



地域振興常任委員会

- 【民生保健常任委員会】**
- 第68号 専決処分承認を求めることについて(平成21年度小野市一般会計補正予算(第3号))
 - 第69号 平成21年度小野市一般会計補正予算(第4号)
 - 第70号 平成21年度小野市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)
 - 第77号 小野市介護保険条例及び小野市後期高齢者医療に関する条例の制定について採決の結果、全議案について全員賛成により可決すべきと決まりました。



消防団員の定員、給与など一部改正

- 【地域振興常任委員会】**
- 第69号 平成21年度小野市一般会計補正予算(第4号)
 - 第71号 小野市下水道事業欠損金の処理について採決の結果、全議案について全員賛成により可決すべきと決まりました。

審査報告とは…

議会の意思決定は、最終的には本会議で決められますが、効率的、専門的に審議するため、少数の議員で構成する委員会を設けています。委員会では、それぞれの案件を審査し、委員会としての結論を得て、本会議で報告します。

◎議会の動き◎

【11月】

- 1日 小野市フットサル選手権大会
- 4日 新潟県妙高市行政視察受け入れ
- 4日～6日 新生クラブ会派行政視察
(新発田市・会津若松市・白河市)
- 5日 金婚夫婦を祝う集い
- 7日 小野工業高校創立70周年記念式典
- 8日 小野市民文化賞表彰式
- 9日 議員研修会
- 10日 女性議会
- 10日～13日 議員セミナー(大津市)
- 15日 JR加古川線電化開業5周年記念式典(西脇市)
- 16日～18日 市民クラブ・公明党合同会派行政視察
(三沢市・上ノ国町・北斗市)
- 18日 小野加東住民大会
- 19日 議会改革特別委員会
- 20日 議会運営委員会・議会報編集委員会
- 21日 心あったかフォーラム
- 22日 シルキーウェイあわの里オープニングセレモニー
- 23日 小野市ひまわり杯ジュニアバレーボール大会
- 24日 全国市議会議長会産業経済委員会(東京)
- 26日 北播政経懇話会(西脇市)
- 27日 議員協議会
- 29日 西脇病院グランドオープン式典(西脇市)
- 30日 本会議(第1日)

【12月】

- 4日 小野加東広域事務組合議会
- 5日 女性フェスティバル
- 13日 小野市美術展表彰式
- 15日 本会議(第2日目)
- 16日 本会議(第3日目)
- 18日 北播衛生事務組合議会
- 21日 総務文教常任委員会・民生保健常任委員会・地域振興常任委員会
- 24日 本会議(第4日目)
- 〃 会派代表者会

【1月】

- 5日 新年交歓会
- 6日 小野金物卸商業協同組合新年式
- 7日 青野原駐屯地新春互礼会
- 7日～8日 市町村議会議員研修(滋賀県)
- 11日 成人式
- 14日 匠工業会新年会
- 15日 議会改革特別委員会
- 17日 ボーイスカウト育成会総会
- 19日 議会運営委員会
- 〃 市議会報編集委員会
- 20日 東播・淡路市議会議長会定例会(洲本市)
- 21日 北播政経懇話会
- 24日 ONO RUNランウォーク
- 25日 臨時本会議
- 〃 議員研修会
- 29日 総務文教常任委員会研修会

議員研修会を実施しています

小野市議会では、市の現状を把握し、行政を取り巻く様々な問題に対応するため、委員会や議員自ら研修会を実施し、資質向上に努めています。

日程	内容	対象
4月22日	新都市中央線計画予定地現地視察	地域振興 常任委員会
	小田城・下東条地区現地視察	
	枝葉チップ処理施設視察	
5月18日	質疑・一般質問の取り決めについて	議員
6月24日	ICT教育について	総務文教 常任委員会
	広域消防について	
7月10日	小野市の介護保険料について	民生保健 常任委員会
7月16日	小野市特産品ブランド事業について	地域振興 常任委員会
7月17日	行政視察の結果と小野市における取組について	民生保健 常任委員会
8月5日	行政視察の結果と小野市における取組について	地域振興 常任委員会
8月20日	船木浄水場現地視察	地域振興 常任委員会
	市内各浄水場の水域範囲及び濁水対策について	
10月9日	市場小学校大規模改修工事について現地視察	総務文教 常任委員会
	KDDI用地について現地視察	
10月26日	障害福祉・高齢介護制度について	民生保健 常任委員会
10月27日	農業への企業参入とベンチャービジネスについて	地域振興 常任委員会
	大規模商業施設の進出の問題について	
11月10日	地方交付税制度について	議員
1月25日	常任委員会付託の課題について等	議員
1月29日	下東条地区まちづくり活性化計画について	総務文教 常任委員会
2月2日(予定)	医療・介護の現状について	民生保健 常任委員会
2月4日(予定)	農家個別所得補償の具体的内容について	地域振興 常任委員会
	生産調整と交付金の内容について	
	太閤の渡し・ぶらっときすみのそば工房・シルキーウェイあわの里の経営状況について	

3月定例会日程

- 3月1日(月) (第1日) 10時～
- 3月11日(木) (第2日) 10時～
- 3月12日(金) (第3日) 10時～
- 3月29日(月) (第4日) 13時30分～

傍聴お待ちしております!!

本会議の第2日と第3日は、議員の質疑、一般質問があります。議員からは、提出議案の質疑、市政全般にわたる一般質問を行い、これに対して市長、部長が答弁します。

託児コーナー

3月11日(木)・12日(金)に開設します。
ご希望の方は、3月3日(水)までに議会事務局までお申し込みください。

自宅にいながら議会の傍聴



実施中!!

小野市ホームページからご覧いただけます。